

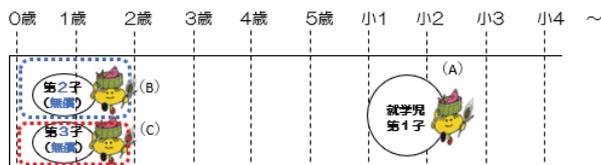
予算決算

予算を
チェック①

子育て、教育支援に重点

第2子以降の保育料の無償化

(例) 第1子(A) …小学生、第2子(B) …保育園児、第3子(C) …保育園児 の場合



…対象者(現行) …対象者(範囲拡大分)
無償 …無償範囲拡大

・第1子(A)を、保育料減免の制度においても第1子としてカウントします。
このため、これまで全額又は半額負担していた保育料が、**第2子以降無償となります。**

4億5492万円
(私立幼稚園・認定こども園等)
302万円(認可外保育施設)

問 認可外保育施設の利用料も含むということだが積算根拠は。

答 現在、通っている6人を積算

松前幼稚園整備

2億8421万円



令和7年度に魅力ある幼稚園型認定こども園へ移行

問 園舎の整備に県からの補助は。

答 幼稚園業務システム導入の補助のみ。

18歳までの医療費助成

1億5424万円



令和6年4月
診療分から

紙おむつ購入補助を第1子からに拡大

1055万円



子育て応援
出生率の向上を

不登校児童生徒支援員の設置

163万円



松前中に専用の部屋と支援員1名

問 他の校区からの転校は可能か。

答 教育委員会と学校で協議し対応したい。

若年出産世帯応援 若年出産世帯奨学金 返還支援

1840万円



経済的理由で出産を諦めることがないように、出産後に要する費用や奨学金返還の支援

※若年夫婦の年齢を29歳以下から35歳以下に引き上げ